

# 平成30年救助統計

北見地区消防組合

# 目次

1 救助業務の概要・救助出動の状況	…P1
2 地区別救助事案発生件数	…P2～3
3 救助活動の状況(活動時間推移)	…P4
4 医師要請及びドクターカー・ヘリ要請の状況	…P5
5 救出された要救助者の傷病程度	…P6
6 交通事故の出動状況	…P7
7 水難事故の出動状況	…P8
8 風水害等自然災害の出動状況	…P9
9 機械による事故の出動状況	…P10
10 建物等による事故の出動状況	…P11
11 ガス及び酸欠事故の出動状況	…P12
12 その他の事故の出動状況	…P13

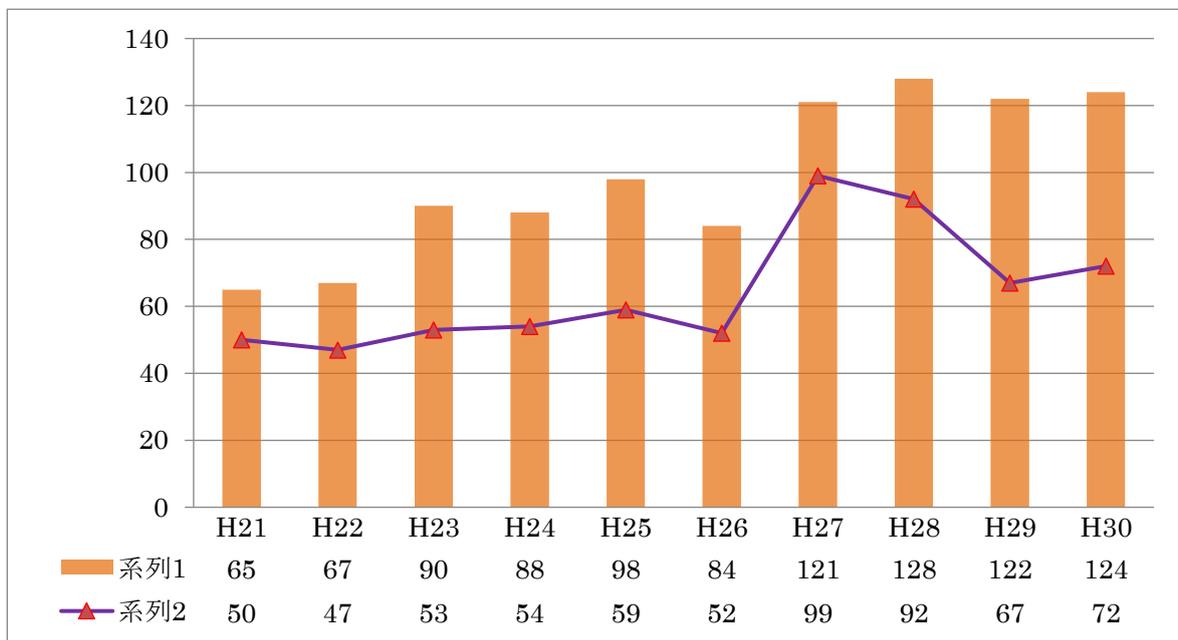
# 1 救助業務の概要

北見地区消防組合消防署救助隊は、火災、交通事故、水難事故、地域の特殊性に応じた自然災害などから、生命・身体の危険を排除し、安全・確実・迅速に救出することを目的としている。当消防組合は石北峠からオホーツク海に面する東西約110km、約2145.63km<sup>2</sup>に及ぶ広大な地域を管轄しており、救助隊及び各支署に配備されている救助資機材で各種出動事案に対応している。

救助出動の状況(出動件数、救助人数の推移)

北見地区消防組合の救助出動件数は124件で、前年と比較して2件増加しており、救助人数72人で前年と比較して5人の増加となっている。(図1-1)

図1-1 救助件数の推移



## 2 地区別救助事案発生件数

平成30年中の救助出動件数は124件。前年と比較し2件増加している。(表2-1)(表2-2)

建物による事故が44.4%、交通事故が36.3%を占め、次にその他の事故が14.5%、機械による事故が2.4%、水難事故が1.6%、ガス酸欠事故が0.8%となっている。(図2-1)

表2-1 構成市町別救助事案発生件数

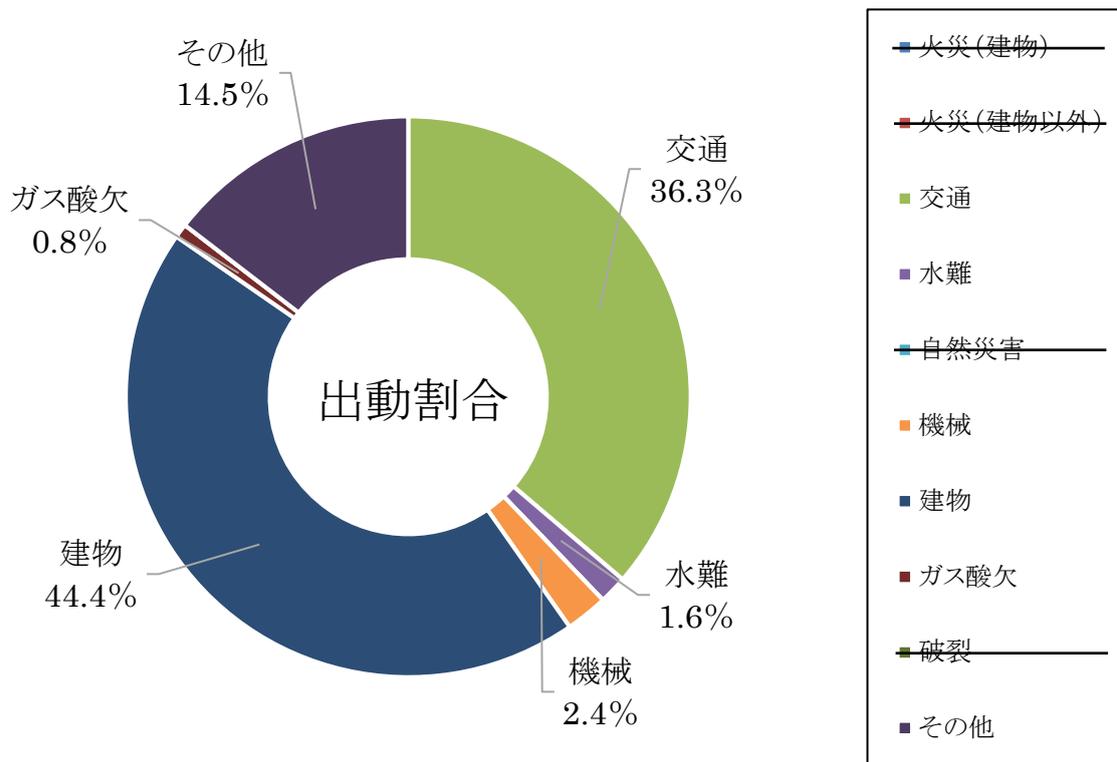
構成市町別	事故種別	火災		交通	水難	災害自然	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他	計
		建物	建物以外									
合	出動件数			45	2		3	55	1		18	124
	増減数			△6			△2	2	△3		11	2
	活動件数			30	1		1	29			13	74
	増減数			△1	△1			4	△1		10	11
計	救助人数			36			2	24			10	72
	増減数			△3	△2		1	3	△1		7	5
北	出動件数			42	2		3	55	1		17	120
	増減数			△4			△2	4	△2		11	7
	活動件数			28	1		1	29			12	71
	増減数			1	△1			6			9	15
見	救助人数			33			2	24			9	68
	増減数			△2	△2		1	5			6	8
置	出動件数			1							1	2
	増減数			△2								△2
	活動件数			1							1	2
	増減数			△1							1	
戸	救助人数			2							1	3
	増減数										1	1
訓	出動件数			2								2
	増減数							△2	△1			△3
子	活動件数			1								1
	増減数			△1				△2	△1			△4
府	救助人数			1								1
	増減数			△1				△2	△1			△4
管	出動件数				1							1
	増減数				1							1
	活動件数				1							1
	増減数				1							1
外	救助人数				1							1
	増減数				1							1

※組合内の出動件数につき、管外の出動は合計に含めないものとする。

表2-2 北見市自治区別救助事案発生件数

自治区別		火 災		交 通	水 難	災自 害然	機 械	建 物	ガ酸 ス欠	破 裂	そ の 他	計
		建物	建物以外									
北 見 端	出動件数			23	2		1	51	1		13	91
	活動件数			17	1		1	28	0		10	57
	救助人数			19	0		2	23	0		7	51
野 常	出動件数			10			1				1	12
	活動件数			4			0				0	4
	救助人数			5			0				0	5
呂 留 辺 薬	出動件数			3			1	2				6
	活動件数			1			0	1				2
	救助人数			1			0	1				2
呂 留 辺 薬	出動件数			6				2			3	11
	活動件数			6				0			2	8
	救助人数			8				0			2	10

図2-1 事故種別出動割合



### 3 救助活動の状況(活動時間推移)

平成30年中の救助活動有りの件数は74件。前年と比較し11件増加している。現場到着の平均時間は5.9分(最先着隊の到着、救急隊含む)、救出時間は平均9.2分を要した。(図3-1)(図3-2)

図3-1 現場到着平均時間割合

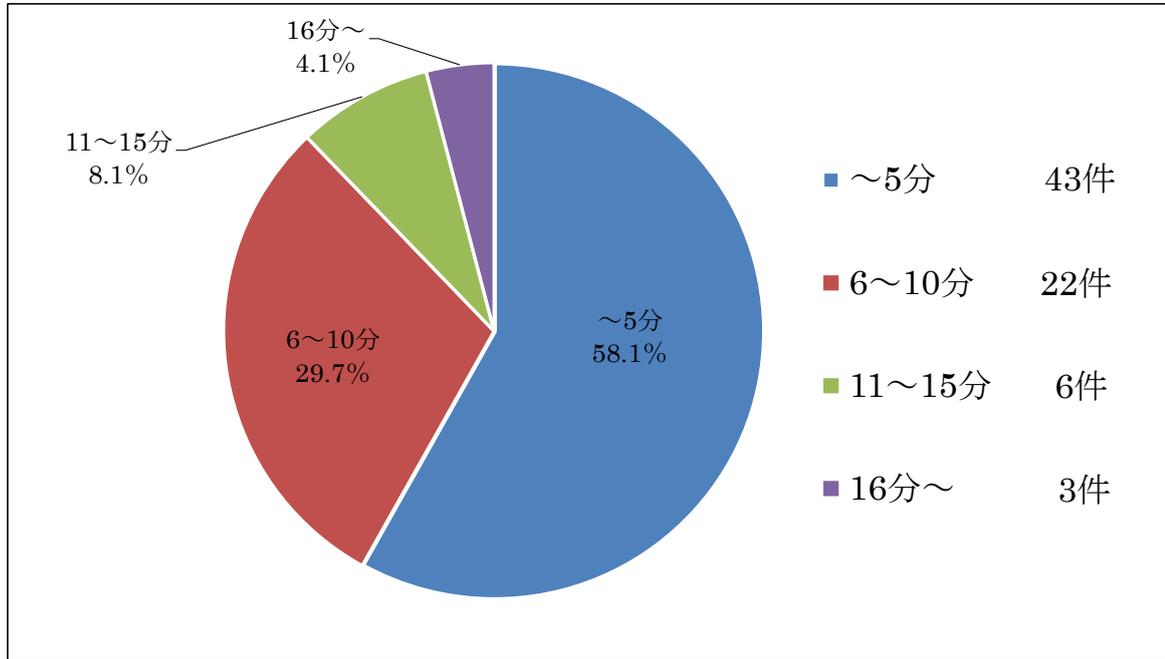
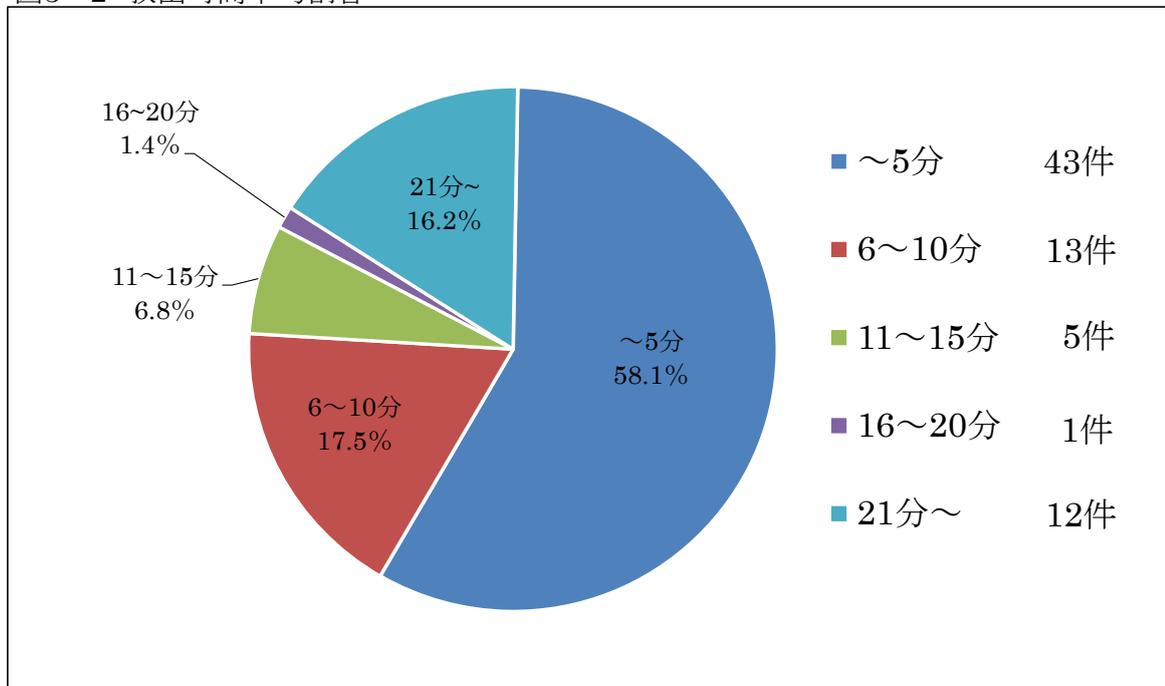


図3-2 救出時間平均割合



## 4 医師要請及びドクターカー・ヘリ要請の状況

平成30年中の救助出動事案に関わるドクターカー(医師要請)出動は4件。要救助者をいち早く医師の管理下におくため、天候や地理的な条件を考慮して早期にドクターカー又は、ドクターヘリを要請する必要がある。(図4-1)

なお、医師搬送はすべてドクターカーによるものであった。

医師要請回数及び搬送回数(表4-1)、ドクターヘリ要請回数及び搬送回数(表4-2)、防災ヘリ要請回数及び搬送回数(表4-3)は、下表のとおりである。

図4-1 救助事案に関わる医師要請状況

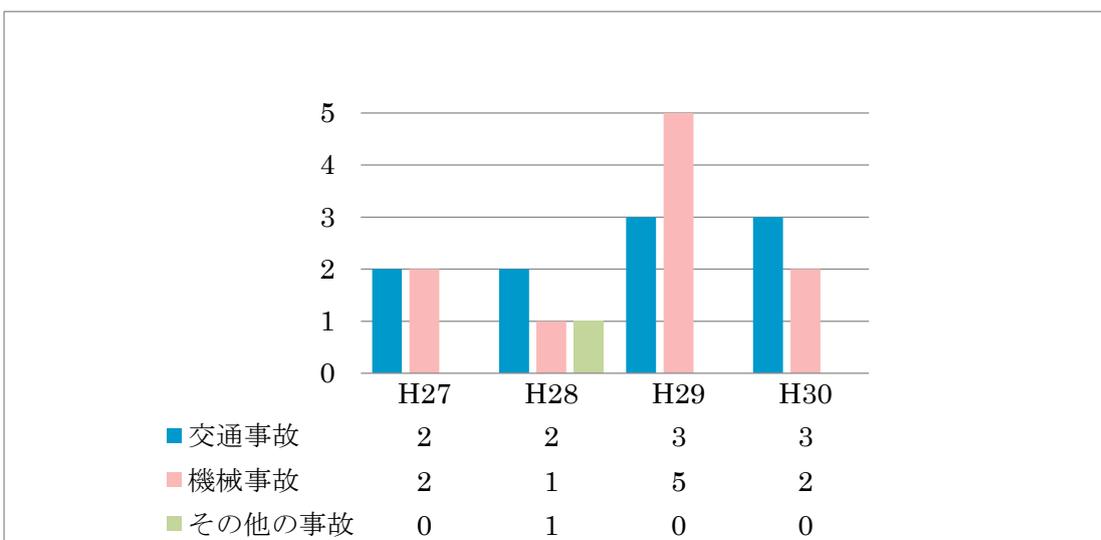


表4-1 医師要請回数及び搬送回数

	H27	H28	H29	H30
医師要請回数	4	4	8	5
医師搬送回数	4	4	5	4

表4-2 Dr.ヘリ要請回数及び搬送回数

	H27	H28	H29	H30
Dr.ヘリ要請回数	1	1	0	1
Dr.ヘリ搬送回数	0	1	0	0

表4-3 防災ヘリ要請回数及び搬送回数

	H27	H28	H29	H30
防災ヘリ要請回数	1	0	1	0
防災ヘリ搬送回数	0	0	0	0

## 5 救出された要救助者の傷病程度

平成30年中の救出された要救助者は72人、交通事故50%、建物等による事故33.3%で、全体の83.3%を占めている。(図5-1)

死亡、重症、中等症の傷病者の割合の合計は52.8%、入院加療を必要としない軽症者は27.8%となっている。(表5-1)

図5-1 災害別要救助者数割合

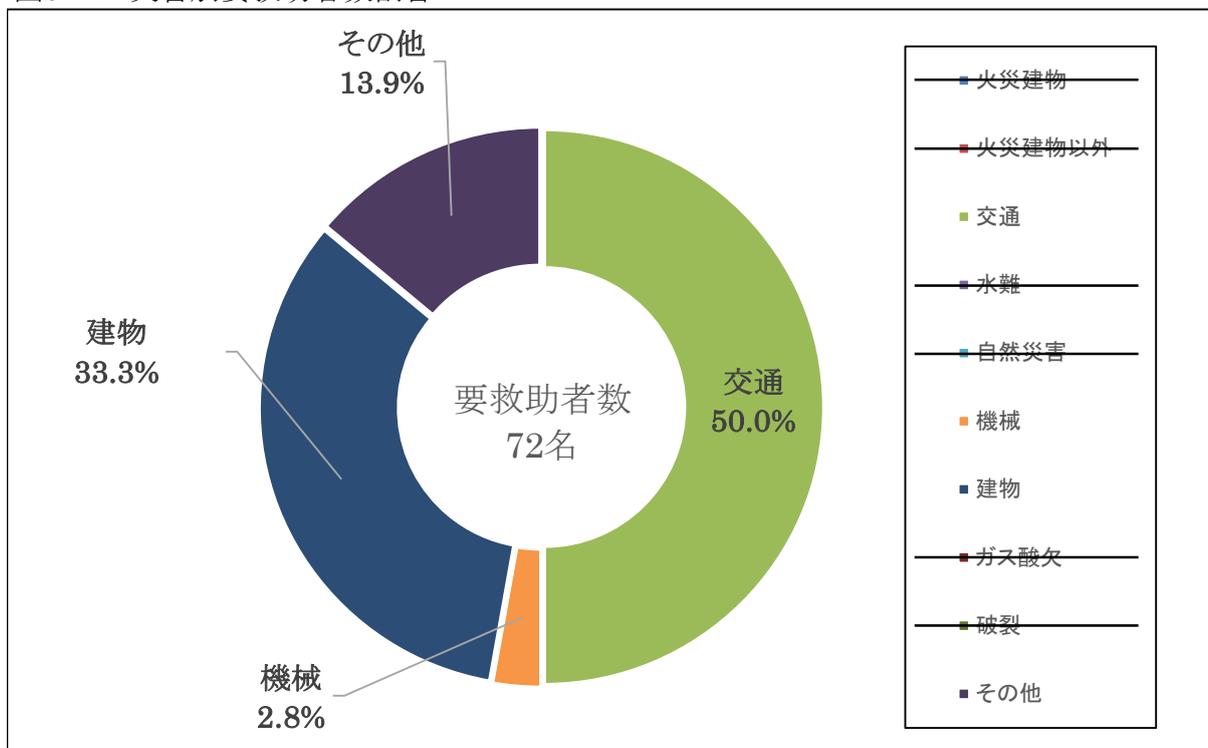


表5-1 災害別傷病程度

	死亡	重症	中等症	軽症	無し	合計
火災建物						0
火災建物以外						0
交通	2	4	14	12	4	36
水難						0
自然災害						0
機械			2			2
建物		3	10	4	7	24
ガス酸欠						0
破裂						0
その他		1	2	4	3	10
	2	8	28	20	14	72

死 亡…初診時において死亡が確認されたもの。

重 症…傷病の程度が3週間の入院加療を必要とするもの。

中等症…傷病者の程度が重傷又は軽症以外のもの。

軽 症…傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

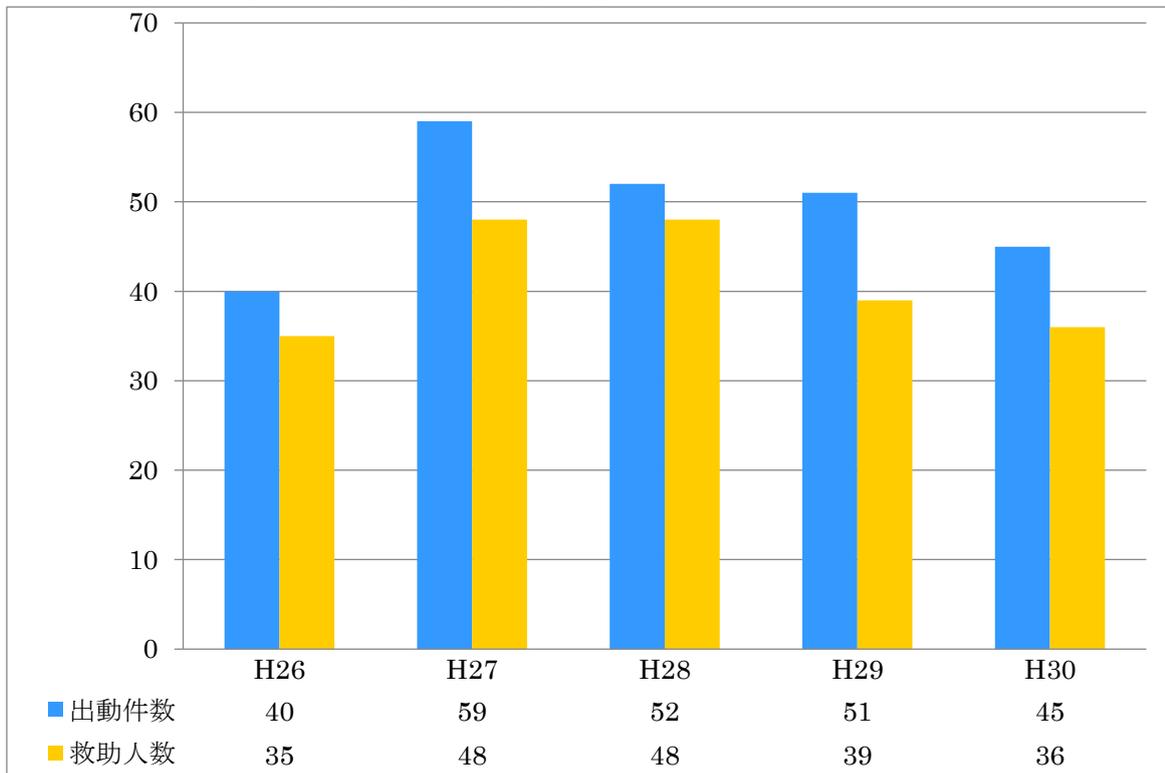
無 し…負傷無し、不搬送含む。

## 6 交通事故の出動状況

平成30年中の交通事故による救助出動は45件で、前年と比較して6件減少している。また、救助人数は36人で前年と比べ3件減少であった。(図6-1)

交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単独事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

図6-1 交通事故の出動状況及び救助人数



## 7 水難事故の出動状況

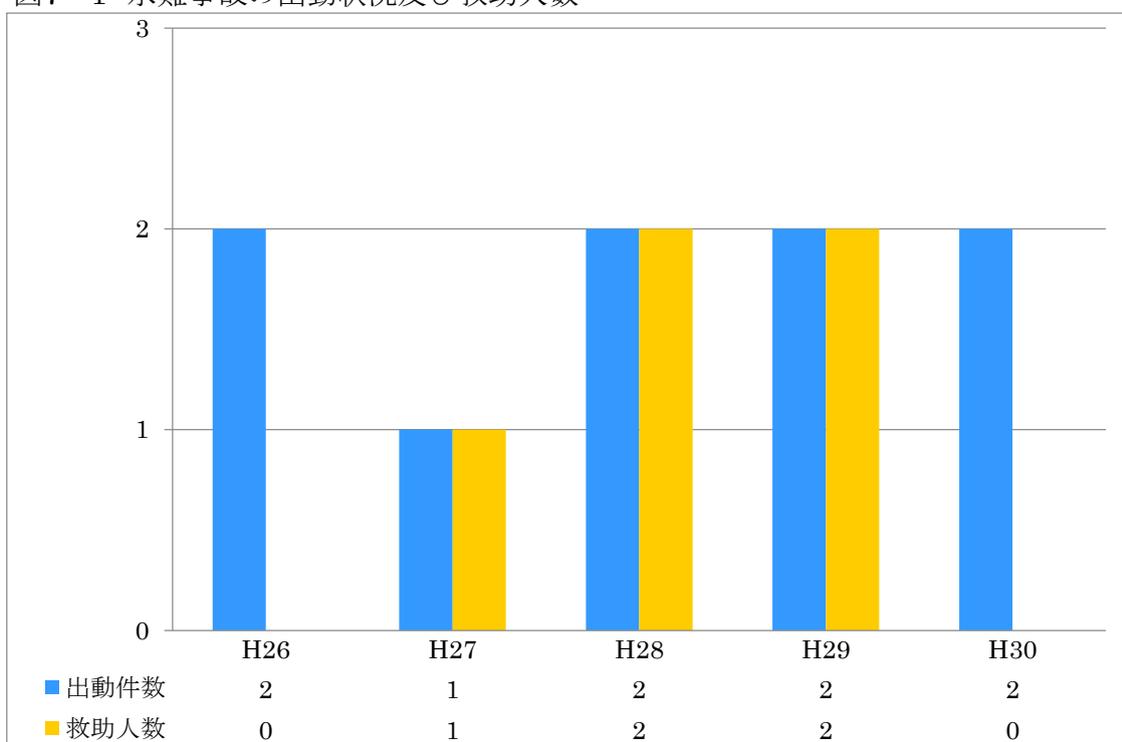
平成30年中の水難事故は2件で、前年と同件数であった。

(図7-1)

水難救助業務は、平成30年4月1日から水難救助隊から消防署救助課へ移管し、救助工作車による即時出動を可能とした水難救助体制となった。これにより、当消防組合の管轄区域内における水難救助事故対応は、救助隊、消防隊、救急隊及び指揮隊による対応となる。

水難事故とは、水泳中の溺者又は、水中転落等による事故をいう。

図7-1 水難事故の出動状況及び救助人数



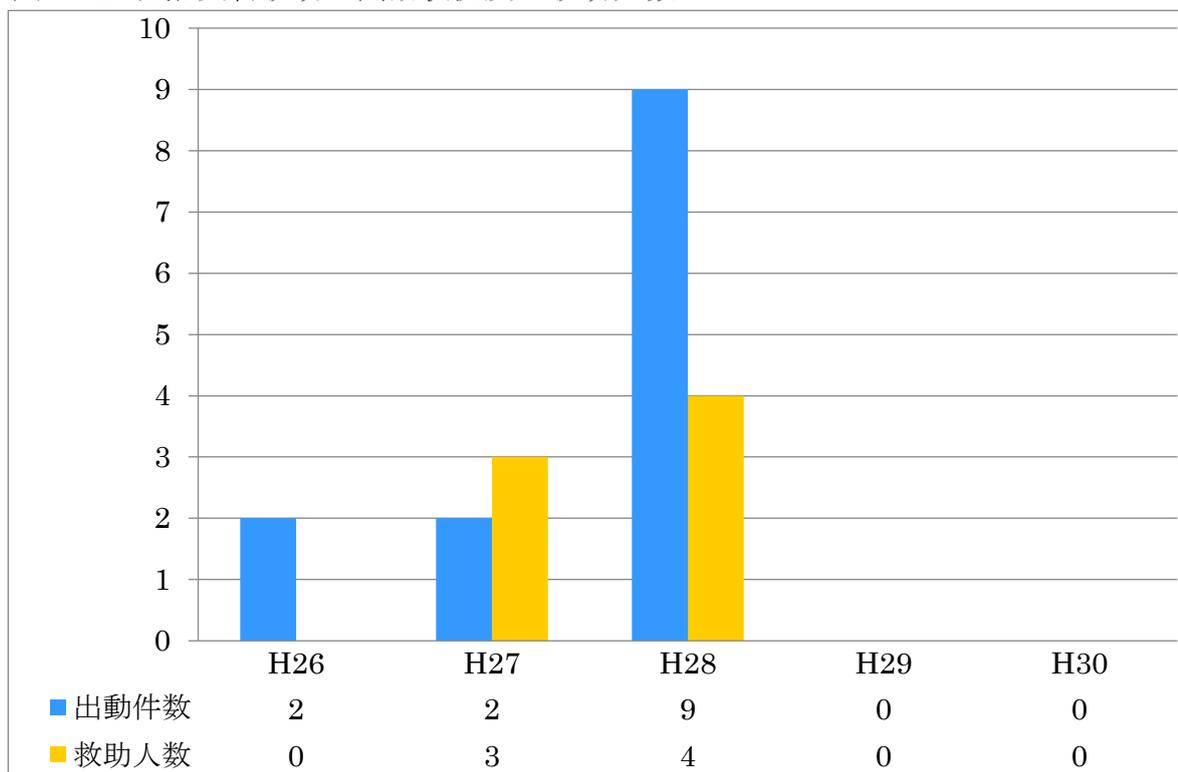
※この統計は管外出動を含まない。

## 8 風水害等自然災害の出動状況

平成30年中の自然災害事故は13件であったが全て警戒種別であり、その内の救助出動はなかった。(図8-1)

風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑り、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

図8-1 自然災害救助の出動状況及び救助人数

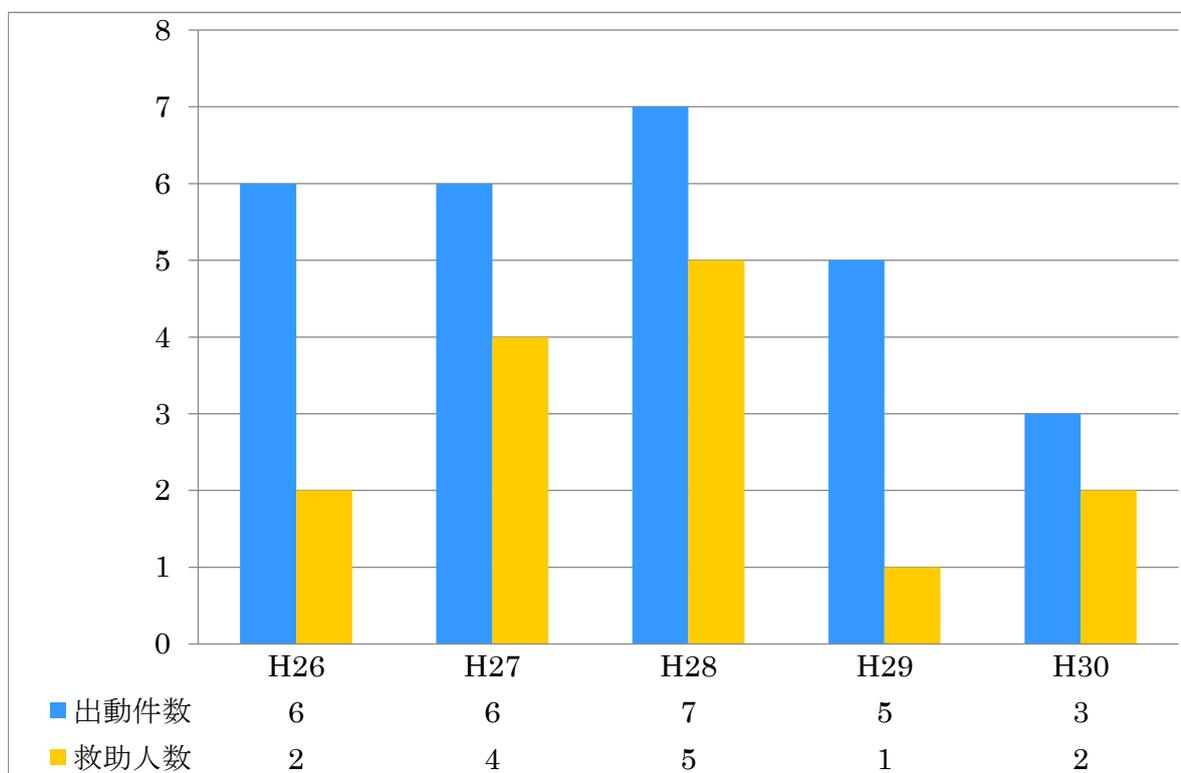


## 9 機械による事故の出動状況

平成30年中の機械による事故は3件で、前年と比較すると2件減少で、救助人数は2人で1人増加している。(図9-1)

機械による事故とは、エレベーター、エスカレーター、農業用機械、プレス機械、塵芥収集車、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

図9-1 機械による事故の出動及び救助人数

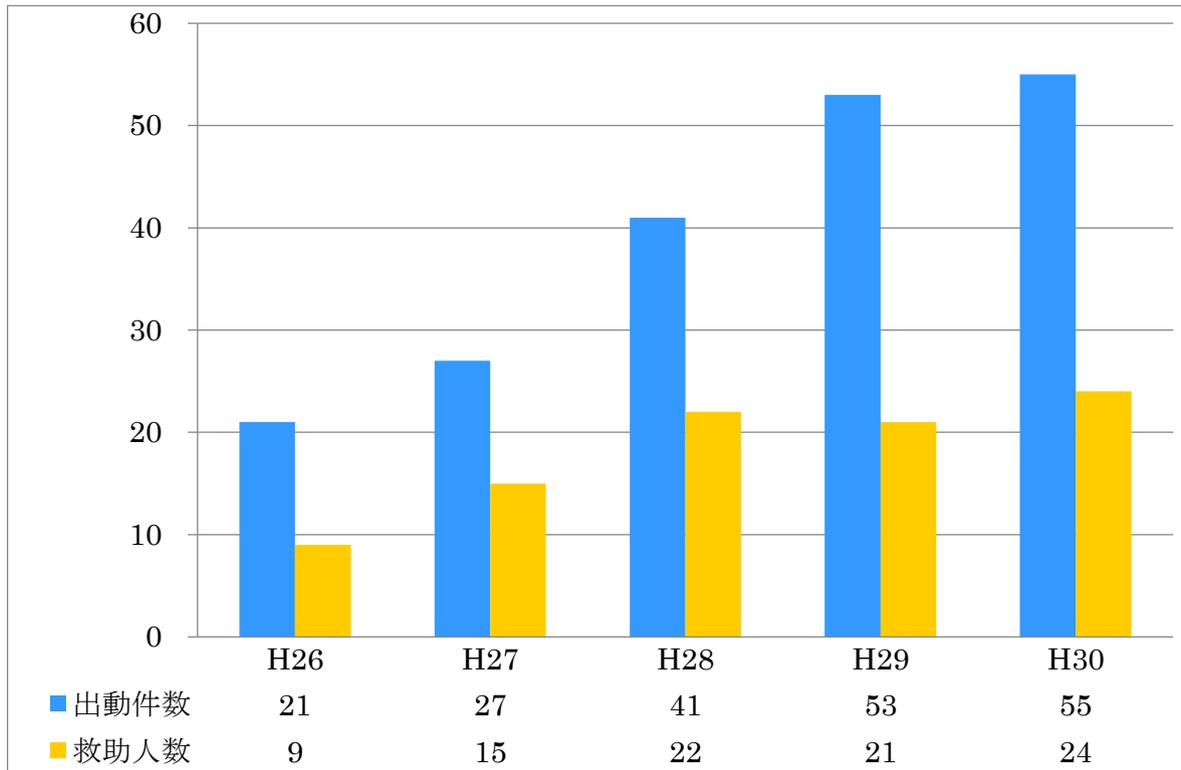


## 10 建物等による事故の出動状況

平成30年中の建物等による事故は55件で、前年と比較すると2件の増加で、救助人数は24人で3人増加している。(図10-1)

建物等による事故とは、建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

図10-1 建物等による事故の出動状況及び救助人数



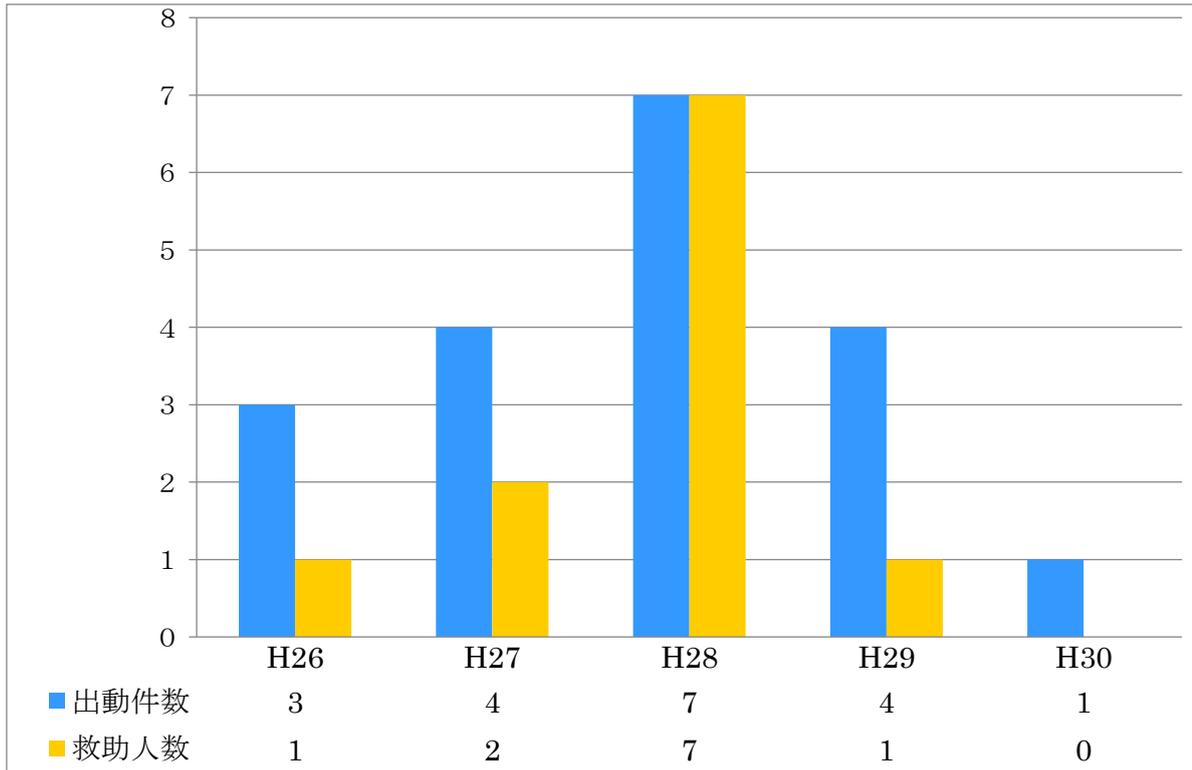
## 11 ガス及び酸欠事故の出動状況

平成30年中のガス及び酸欠事故は1件で、前年と比較すると3件減少で、救助人数は0人で1人減少している。(図11-1)

ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故をいう。

※車両、建物内の練炭等による事故も含まれている。

図11-1 ガス及び酸欠事故の出動状況及び救助人員



## 12 その他の事故の出動状況

平成30年中のその他の事故は18件で、前年と比較すると11件増加しており、救助人数は10人で7人増加している。(図12-1)

その他の事故とは、交通事故、水難事故、機械による事故、建物等による事故、ガス及び酸欠事故、破裂事故に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

図12-1 その他事故の出動状況及び救助人数

